

愛媛から アフリカへ

～ TICAD7とSDGsへの貢献～

愛媛とアフリカのつながりを知っていますか？

多くの日本人にとってアフリカは、

物理的な距離も心の距離も遠い地域。

それが今、変わろうとしています。

愛媛とアフリカの物理的な距離も心の距離も

縮めることを目指し活躍している方々のお話をきいて、

あなたもアフリカに一步踏み出しませんか？

**事例紹介1 「英語ゼロ、海外経験ゼロの僕が
アフリカ・モザンビークで活躍できた理由」**
元青年海外協力隊員 森本 宝(もりもと たから)

**事例紹介2 「愛媛とモザンビークを繋ぐ
グローバル・コラボレーション」**
愛媛大学国際連携推進機構アジア・アフリカ交流センター准教授
栗田 英幸(くりた ひでゆき)

事例紹介3 「平和で持続可能な社会の実現に向けて」
特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク代表理事
竹内 よし子(たけうち よしこ)

**事例紹介4 「進化したアフリカの姿
ーテクノロジーによって変貌する姿」**
キャスタリア株式会社 CEO(代表取締役)
山脇 智志(やまわき さとし)

TICAD7とは



ティカドセブン

TICAD 7 (The 7th Tokyo International Conference on African Development) は、2019年8月に横浜で開催される第7回アフリカ開発会議です。日本政府が主導し、国連、国連開発計画、アフリカ連合委員会及び世界銀行と共同で開催するアフリカの開発をテーマとした国際会議です。アフリカ開発におけるアフリカ諸国の「オーナーシップ」と、国際社会による「パートナーシップ」を大切に、アフリカを含めた全世界と一緒に未来へ進むために開催されます。

SDGsとは

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



エスディージーズ

SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015年に国連が採択した2030年までに世界で実現しようとする17の目標のことです。「誰ひとり取り残さない」を基本理念に「経済」「社会」「環境」「平和」「包摂」を課題に設定されています。

日時 2019. **2/12** 火

15:00～17:15(開場14:30)

場所 **愛媛大学メディアホール**

松山市文京町3
愛媛大学総合情報メディアセンター 1F

定員 **100名** (先着順)

参加
無料

申し込み方法 **WEB(申し込みフォーム)または、お電話にてお願いいたします。**

▪ WEB(申し込みフォーム): <https://goo.gl/o3zUGS>

▪ TEL:087-821-8825(山科)

※当日、席に余裕がある場合は、申し込みなしでも参加いただけます。

申し込み締切日

2/8 金
12:00まで

申し込みフォーム



お問合せ先 **独立行政法人 国際協力機構 四国センター(JICA四国) TEL:087-821-8825(山科)**

主催:独立行政法人 国際協力機構四国センター(JICA四国) 共催:国立大学法人 愛媛大学国際連携推進機構 後援:特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク

プログラム

15:00～15:10 開会にあたって「TICAD7とSDGsへの貢献」 JICA四国 所長 **小林 広幸** (こばやし ひろゆき)

15:10～15:25 **事例紹介1** 「英語ゼロ、海外経験ゼロの僕がアフリカ・モザンビークで活躍できた理由」

青年海外協力隊としてモザンビークでの活動につながる、高校～大学～大学院～社会人へのキャリアパスや、アフリカへ行く前～滞在中～帰国後での気持ちの変化等を紹介します。



発表者 元青年海外協力隊員(モザンビーク)
森本 宝 (もりもと たから)

愛媛大学農学部附属農業高等学校卒業、愛媛大学農学部卒業、愛媛大学大学院農学研究科(修士課程)修了。農業土木の設計技師として3年間勤務した後、青年海外協力隊の農業土木隊員としてモザンビークで活動。帰国後は、えひめグローバルネットワークでモザンビーク案件の担当、旅館での外国人旅行者への接待係などを経て、現在、京都ピアラボでパースタッフとして勤務。ビール醸造にも携わる。

15:25～15:40 **事例紹介2** 「愛媛とモザンビークを繋ぐグローバル・コラボレーション」

「学び合い」「地域貢献」を交流理念として位置付けるルリオ大学との交流、その難しさや意義、そこで学生の果たしうる役割について、今年度より開始された3つの協働プログラムを通して紹介します。



発表者 愛媛大学国際連携推進機構アジア・アフリカ交流センター准教授
栗田 英幸 (くりた ひでゆき)

東北大学国際文化研究科修士課程、同農学研究科博士課程を経た後、愛媛大学に勤務。博士(国際資源政策)。ルリオ大学客員教授。日本、フィリピン、オーストラリア、モザンビークを対象とし、資源の利用を通じた開発、環境、平和への影響について研究。現在、モザンビークのルリオ大学サテライトオフィスの管理責任者として愛媛大学との学び合いを基盤としたコラボレーションの立案・実施に従事。

15:40～15:55 **事例紹介3** 「平和で持続可能な社会の実現に向けて」

モザンビークにおける「銃を鋏へ」平和構築プロジェクトへの協力から始まった愛媛とモザンビークのつながり・歴史を「武器アート展示」とともにふりかえり、現地で持続可能な社会づくりとして取り組んできた公民館建設(ESD拠点づくり)等を紹介します。



発表者 特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク代表理事
竹内 よし子 (たけうち よしこ)

渡英経験、企業や研究機関等の勤務経験を活かしてNPOを設立。現職でモザンビーク支援に関わり、国内外でグローバルにESDを実践中。環境省四国EPO統括、四国ESDセンター統括、平成30年度外務省NGO相談員、四国NGOネットワーク代表、NPO法人えひめリソースセンター理事長、NPO法人えひめ311理事、各種委員等を兼任。

15:55～16:10 **事例紹介4** 「進化したアフリカの姿－テクノロジーによって変貌する姿」

私達の日常がテクノロジーによる進化を日々続けているのと同じように、アフリカにおいても、その進化は起きています。日本でほとんどの人がスマホを持っているようにアフリカでもスマホは日本以上に人々の生活を一変しました。ITを中心にしたそんなアフリカの今を紹介します。



発表者 キャスタリア株式会社 CEO(代表取締役)
山脇 智志 (やまわき さとし)

國學院大学卒。NYでの留学・就職・起業を得て日本に帰国。スマートフォンを用いたモバイルラーニングサービスを提供するキャスタリア株式会社を設立。共著に「プログラミング教育が変える子どもの未来 AIの時代を生きるために親が知っておきたい4つのこと」(翔泳社)、「教養のSNS:ソーシャル時代の技術とセキュリティについて考える」(先端社会科学技術研究所刊)など。中央大学総合政策研究所研究員。

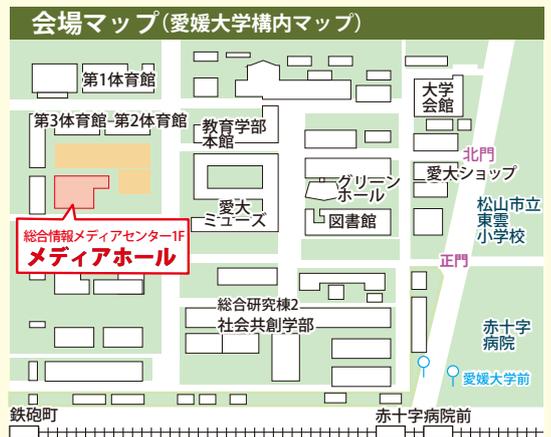
16:10～16:20 休憩

16:20～17:10

パネルディスカッション 「アフリカの楽しさと難しさ」

愛媛大学附属高等学校生徒による話題提起

- －元青年海外協力隊 森本 宝
 - －愛媛大学プロジェクト学生
 - －愛媛大学国際連携推進機構 栗田 英幸
 - －えひめグローバルネットワーク 竹内 よし子
 - －キャスタリア株式会社 山脇 智志
 - －JICA四国 小林 広幸
- ファシリテーター 愛媛大学国際連携推進機構 小林 修



17:10～17:15 閉会のあいさつ 愛媛大学 副学長・国際連携推進機構長
杉森 正敏 (すぎもり まさとし)

愛媛大学 城北キャンパス 松山市文京町3
総合情報メディアセンター1F メディアホール
※公共の交通機関でお越しください。